

埼玉県学力・学習状況調査（中学校）

# 復習シート 第一学年 国語



組	番号	名前

## 【「話すこと・聞くこと」を問う問題】

1 松山さんの学級では、自分たちの言葉の使い方を見直すために、話し合うことにしました。松山さんのグループでは、言葉の乱れについて話し合っています。次は、そのときの【話し合いの様子の一部】です。これを読み、あとの問題に答えなさい。

### 【話し合いの様子の一部】

**松山** 司会の松山です。自分たちの言葉の使い方を見直すために、今日は「生活の中で使っている言葉は乱れているか」について話し合っていきたいと思います。初めに、それぞれの考えを発表してもらいます。そして、その意見をもとにして、自分はこれから言葉をどのように使っていくとよいかについて話し合い、考えていきましょう。それでは田中さんから、発表をお願いします。

**田中** ぼくは、言葉は乱れていると思います。調べてみると、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉があるということが分かったからです。文化庁の「国語に関する世論調査」では、「役不足」という言葉について、「本人の力量に対して役目が軽すぎる」という本来の意味を選んだ人は、四十一・六パーセントでした。半数以上の人は、本来の意味とは異なる使い方をしているようです。

**北川** 私も、言葉は乱れていると思います。なぜなら、言葉を省略して話す人が多いからです。例えば、「今年もよろしくお願いします」を「ことよろ」と言うことがあります。省略すると相手や場に合っていない言葉になったり、意味が分からなくなったりすることがあると思います。

**小池** 私は、言葉は乱れていないと思います。例えば、「全然」は「全然ない」のように、後に打消しの言葉が来るときに使うのですが、最近では、「全然いい」という使い方をする人もいます。また、辞書によると、後に来るのが打消しの言葉に限らない時期もあったそうです。このように、時代によって言葉の使われ方は変わるから、今まではちがう使われ方だとしても、言葉が乱れているとは言えないと思います。

**松山** ありがとうございます。それぞれの意見に対して質問はありますか。  
**田中** 小池さんに質問があります。時代によって使われ方が変わった言葉は、「全然」以外にどのようなものがありますか。

**小池** 例えば、「見える」という言葉があると思います。私たちは「見ることができると」という意味で使っていますが、辞書には、本来は「見られる」と言うべきものと書かれていました。

**松山** ここまでの三人の意見は、田中さんは、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉があるから言葉は乱れているという考え、北川さんは、言葉が省略して使われているから言葉は乱れているという考えでした。小池さんは、言葉

の使われ方は時代によって変わるものだから、言葉は乱れていないという考えでした。お互いの意見について、どう考えますか。

北川 田中さんが話したように、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉は確かに多いと思います。よく使っている言葉でも、疑問をもったときは意味を調べてみるのが大切だと思います。

小池 本来の意味とは異なる使い方をしていると田中さんは言っていました。そのような使い方をしても、自分の思いが相手に伝わることはあると思います。

松山 なるほど、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉は多くあっても、相手に言いたいことが伝わっているかもしれないですね。反対に、異なる使い方をしたために、うまく思いが伝わらないことがあるのかもしれないですね。これから言葉をどのように使っていくのがよいと考えますか。

田中 やはり、正しい意味を知っておくのが良いと思います。北川さんのように、疑問を持ったときは調べてみたいと思います。

小池 言いたいことが伝わっているか、相手の理解を確かめながら言葉を使っているかと思っています。

（話し合いが続く）

《令和三年度復習シートより一部改変》

一 司会の松山さんはどのように話し合いを進めていますか。最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。

レベル10

- 1 自分自身の考えを全員に示してから、話し合いを進めている。
- 2 それぞれの立場を明確にしてから、話し合いを進めている。
- 3 一人の考えを中心に取り上げ、話し合いを進めている。
- 4 必ず発言者を指名してから、話し合いを進めている。

二 司会の松山さんが「一」線部のように発言した理由として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。

レベル7

- 1 良い考えを一つ取り上げ、それについて話し合いを進めるため。
- 2 これまで出た考えから、話し合いの結論を出すため。
- 3 自分の考えを全員に伝え、話し合いをまとめるため。
- 4 それぞれの考えを整理し、話し合いを深めるため。

埼玉県学力・学習状況調査（中学校）

# 復習シート 第一学年 国語



組

番号

名前

模範解答

【「話すこと・聞くこと」を問う問題】

1 松山さんの学級では、自分たちの言葉の使い方を見直すために、話し合うことにしました。松山さんのグループでは、言葉の乱れについて話し合っています。次は、そのときの【話し合いの様子の一部】です。これを読み、あとの問題に答えなさい。

【話し合いの様子の一部】

松山

司会の松山です。自分たちの言葉の使い方を見直すために、今日は「生活の中で使っている言葉は乱れているか」について話し合っていきたいと思います。初めに、それぞれの考えを発表してもらいます。そして、その意見をもとにして、自分はこれから言葉をどのように使っていくとよいかについて話し合い、考えていきましょう。それでは田中さんから、発表をお願いします。

田中

ぼくは、言葉は乱れていると思います。調べてみると、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉があるということが分かったからです。文化庁の「国語に関する世論調査」では、「役不足」という言葉について、「本人の力量に対して役目が軽すぎる」という本来の意味を選んだ人は、四十一・六パーセントでした。半数以上の人は、本来の意味とは異なる使い方をしているようです。

北川

私も、言葉は乱れていると思います。なぜなら、言葉を省略して話す人が多いからです。例えば、「今年もよろしくお願いします」を「ことよろ」と言うことがあります。省略すると相手や場に合っていない言葉になったり、意味が分からなくなったりすることがあると思います。

小池

私は、言葉は乱れていないと思います。例えば、「全然」は「全然ない」のように、後に打消しの言葉が来るときに使うのですが、最近では、「全然いい」という使い方をする人もいます。また、辞書によると、後に来るのが打消しの言葉に限らない時期もあったそうです。このように、時代によって言葉の使われ方は変わるから、今まではちがう使われ方だとしても、言葉が乱れているとは思えないと思います。

松山

ありがとうございます。それぞれの意見に対して質問はありませんか。

田中

小池さんに質問があります。時代によって使われ方が変わった言葉は、「全然」以外にどのようなものがありますか。

小池

例えば、「見える」という言葉があると思います。私たちは「見ることができると」という意味で使っていますが、辞書には、本来は「見られる」と言うべきものと書かれていました。

松山

ここまでの三人の意見は、田中さんは、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉があるから言葉は乱れているという考え、北川さんは、言葉が省略して使われているから言葉は乱れているという考えでした。小池さんは、言葉

の使われ方は時代によって変わるものだから、言葉は乱れていないという考えでした。お互いの意見について、どう考えますか。

北川 田中さんが話したように、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉は確かに多いと思います。よく使っている言葉でも、疑問をもったときは意味を調べてみるのが大切だと思います。

小池 本来の意味とは異なる使い方をしていると田中さんは言っていました。そのような使い方をしても、自分の思いが相手に伝わることはあると思います。

松山 なるほど、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉は多くあっても、相手に言いたいことが伝わっているかもしれないですね。反対に、異なる使い方をしたために、うまく思いが伝わらないことがあるのかもしれない。これから言葉をどのように使っていくのがよいと考えますか。

田中 やはり、正しい意味を知っておくのが良いと思います。北川さんのように、疑問を持ったときは調べてみたいと思います。

小池 言いたいことが伝わっているか、相手の理解を確かめながら言葉を使っているかと思っています。

（話し合いが続く）

《令和三年度復習シートより一部改変》

一 司会の松山さんはどのように話し合いを進めていますか。最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。

レベル10

1 自分自身の考えを全員に示してから、話し合いを進めている。

2

2 それぞれの立場を明確にしてから、話し合いを進めている。

3 一人の考えを中心に引き上げ、話し合いを進めている。

初めに話し合いの進め方の中で、言っています。また、互いの意見への質問が終わったときにも確認しています。

4 必ず発言者を指名してから、話し合いを進めている。

二 司会の松山さんが「一」線部のように発言した理由として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。

レベル7

1 良い考えを一つ取り上げ、それについて話し合いを進めるため。

4

2 これまで出た考えから、話し合いの結論を出すため。

3 自分の考えを全員に伝え、話し合いをまとめるため。

それぞれの考えを認め、整理して、これから言葉をどのように使っていくのがよいか発言するようにうながしています。

4 それぞれの考えを整理し、話し合いを深めるため。

# 復習シート 第一学年 国語

埼玉県学力・学習状況調査



組
番号
名前

## 【「書くこと」を問う問題】

1 次の文章は、中尾さんが書いた「作文の下書き」です。書き終わったあと、線部の表現に誤りがあったので、修正しようと思いましたが、「作文の下書き」を読み、あとの問題に答えなさい。

### 「作文の下書き」

三学期には、いよいよ待ちに待った縄跳び記録会がある。また、私は、縄跳びが苦手だ。小学校最後の縄跳び記録会だから、くやしい思いはしたくない。いつも負けてしまっている、ライバルの友達に勝ちたい。私は、苦手な種目の跳び方をよく研究し、これまで毎日あきらめることなく練習することができ②のです。縄跳び記録会当日は、あわてずに冷精③になり、今までの練習の成果を出して、最高の縄跳び記録会にしたい。

(1) 線部①を、正しく直したものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。

レベル6

- 1 さらに
- 2 このように
- 3 だから
- 4 しかし

(2) 線部②を、正しく直したものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。

レベル6

- 1 できる。
- 2 できた。
- 3 できます。
- 4 できました。

(3) 線部③を、正しく直したものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。

レベル6

- 1 清
- 2 晴
- 3 情
- 4 静

埼玉県学力・学習状況調査（中学校）

# 復習シート 第一学年 国語



組

番号

名前

模範解答

【書くこと】を問う問題】

1 次の文章は、中尾さんが書いた「作文の下書き」です。書き終わったあと、線部の表現に誤りがあったので、修正しようと思いましたが、「作文の下書き」を読み、あとの問題に答えなさい。

「作文の下書き」

三学期には、いよいよ待ちに待った縄跳び記録会がある。また、私は、縄跳びが苦手だ。小学校最後の縄跳び記録会だから、くやしい思いはしたくない。いつも負けてしまっている、ライバルの友達に勝ちたい。私は、苦手な種目の跳び方をよく研究し、これまで毎日あきらめることなく練習することができているのです。<sup>②</sup>  
縄跳び記録会当日は、あわてずに冷精<sup>③</sup>になり、今までの練習の成果を出して、最高の縄跳び記録会にしたい。

(1) 線部①を、正しく直したものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 さらに      2 このように      3 だから      4 しかし

(1)(2)(3)ともレベル6

4

前の文が楽しみな気持を表現しているのに対して、後の文は前の文の内容の逆のことを書いている。【逆接】

(2) 線部②を、正しく直したものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 できる。      2 できた。      3 できます。      4 できました。

2

「です」「ます」または、「だ」「である」などのように、文末の表現をそろえる。また、現在なのか過去なのか内容を読み取る。

(3) 線部③を、正しく直したものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 清      2 晴      3 情      4 静

清Ⅱきよい、きよらか      晴Ⅱはれる、はれやか  
情Ⅱ心の動き、思いやり      静Ⅱしずめる、しずまる

4

# 復習シート 第一学年 国語



組	番号	名前

## 【「読むこと」を問う問題】

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

八歳の良平は村はずれの工事現場にあるトロッキに一度は乗ってみたいと思っていた。ある夕方、勝手にトロッキに乗ったところを土工たちに見つかり、どなられてしまう。そののち十日余りたち、今度は親しみやすそうな若い男二人が押すトロッキを見かけ、良平はそばへ駆けていった。

「おじさん。押してやろうか？」

その中の一人、——しまのシャツを着ている男は、うつむきにトロッキを押したまま、思ったとおり快い返事をした。

「おお、※押してくよう」良平は二人の間に入ると、力いっぱい押し始めた。

「※われはなかなか力があるな」他の一人、——耳に巻きたばこを挟んだ男も、こう良平を褒めてくれた。その内に線路の勾配は、だんだん楽になり始めた。「もう押さなくともいい」

——良平は今にも言われるかと内心気がかりでならなかった。が、若い二人の土工は、前よりも腰を起こしたぎり、黙々と車を押し続けていた。良平はどうとうこらえきれずに、おずおずこんなことを尋ねてみた。

「いつまでも押していい？」

「いいとも。」

二人は同時に返事をした。良平は「優しい人たちだ」と思った。五、六※町余り押し続けたら、線路はもう一度急勾配になった。そこには両側のみかん畑に、黄色い実がいくつも日を受けている。

「登り道の方がいい、いつまでも押させてくれるから。」——良平はそんなことを考えながら、全身でトロッキを押すようにした。みかん畑の間を登りつめると、急に線路は下りに

なった。しまのシャツを着ている男は、良平に「やい、乗れ。」と言った。良平はすぐに飛び乗った。トロッコは三人が乗り移ると同時に、みかん畑のにおいをあおりながら、ひた滑りに線路を走り出した。「**1**よりも**2**方がずっといい。」——良平は羽織に風をはらませながら、あたりまえのことを考えた。「行きに押すところが多ければ、帰りにまた乗るところが多い。」——そうも考えたりした。竹やぶのある所へ来ると、トロッコは静かに走るのをやめた。三人はまた前のように、重いトロッコを押し始めた。竹やぶはいつか雑木林になった。爪先上つまさきがりのところどころには、赤さびの線路も見えないほど、落葉のたまっている場所もあった。その道をやつと登りきったら、今度は高い崖がけの向こうに、広々と薄ら寒い海が開けた。と同時に良平の頭には、余り遠く来すぎたことが、急にはつきりと感じられた。三人はまたトロッコへ乗った。車は海を右にしながら、雑木の枝の下を走っていた。しかし良平はさっきのように、おもしろい気持ちにはなれなかった。「もう帰ってくればいい。」——彼はそうも念じてみた。が、行く所まで行きつかなければ、トロッコも彼らも帰れないことは、もちろん彼にもわかりきっていた。

（芥川龍之介「トロッコ」による。）

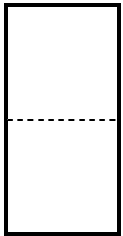
〈注〉※押していくよう||押してくれよ。 ※われは||君は。おまえは。

※町||長さの単位。一町は約一〇九メートル。

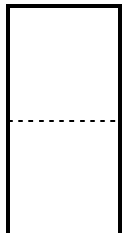
(1) **1**・**2**にあてはまる言葉を、本文中よりそれぞれ二字で抜き出しなさい。

レベル7

**1**



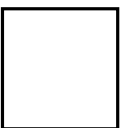
**2**



(2) ——線部「おもしろい気持ちにはなれなかった。」とありますが、その理由の説明として最も適切なものを次の1〜4の中から一つ選びなさい。

レベル8

- 1 雑木の枝の下を走ったため、さっきより眺めがよくなかったから。
- 2 トロッコを独り占めしたいのに、二人の土工がなかなか帰らないから。
- 3 余りに遠くへ来すぎてしまい、帰りのことが心配になってきたから。
- 4 遠くまで重いトロッコを押し続け、さすがに疲れが出てきたから。





埼玉県学力・学習状況調査（中学校）

# 復習シート 第一学年 国語

埼玉県学力・学習状況調査



組
番号
名前
模範解答

## 【「読むこと」を問う問題】

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

八歳の良平は村はずれの工事現場にあるトロッコに一度は乗ってみたいと思っていた。ある夕方、勝手にトロッコに乗ったところを土工たちに見つかり、どなられてしまう。そのち十日余りたち、今度は親しみやすそうな若い男二人が押すトロッコを見かけ、良平はそばへ駆けていった。

「おじさん。押してやろうか？」

その中の一人、——しまのシャツを着ている男は、うつむきにトロッコを押したまま、思ったとおり快い返事をした。

「おお、※押してくよう」良平は二人の間に入ると、力いっぱい押し始めた。

「※われはなかなか力があるな」他たの一人、——耳に巻きたばこを挟はさんだ男も、こう良平を褒ほめてくれた。その内に線路の勾配こうばいは、だんだん楽になり始めた。「もう押さなくともいい」

——良平は今にも言われるかと内心気がかりでならなかった。が、若い二人の土工は、前よりも腰を起こしたぎり、黙もく々と車を押し続けていた。良平はどうとうこらえきれずに、おずおずこんなことを尋たずねてみた。

「いつまでも押していい？」

「いいとも。」

二人は同時に返事をした。良平は「優しい人たちだ」と思った。五、六※町余り押し続けたら、線路はもう一度急勾配になった。そこには両側のみかん畑に、黄色い実がいくつも日を受けている。

「登り道の方がいい、いつまでも押させてくれるから。」——良平はそんなことを考えなが

ら、全身でトロッコを押すようにした。みかん畑の間を登りつめると、急に線路は下りになった。しまのシャツを着ている男は、良平に「やい、乗れ。」と言った。良平はすぐに飛び乗った。トロッコは三人が乗り移ると同時に、みかん畑のにおいをあおりながら、ひたすべりに線路を走り出した。「1よりも2方がずっといい。」——良平は羽織に風をはらませながら、あたりまえのことを考えた。「行きに押すところが多ければ、帰りにまた乗るところが多い。」——そうも考えたりした。竹やぶのある所へ来ると、トロッコは静かに走るのをやめた。三人はまた前のように、重いトロッコを押し始めた。竹やぶはいつか雑木林になった。爪先上りのところどころには、赤さびの線路も見えないほど、落葉のたまっている場所もあった。その道をやつと登りきったら、今度は高い崖がけの向こうに、広々と薄ら寒い海が開けた。と同時に良平の頭には、余り遠く来すぎたことを、思いはようくらいと感じられた。三人はまたトロッコへ乗った。車は海を右にしながららっていった。しかし良平はさっきのように、**おもしろい気持ちにはな**つてくれればいい。」——彼はそうも念じてみた。が、行く所まで行きつッコも彼らも帰れないことは、もちろん彼にもわかりきっていた。

（芥川龍之介「ト

「当たり前のことを考えた」や「行きに押す所が多ければ、帰りにまた乗る所が多い」というセリフから、トロッコを押しているときよりも、トロッコに乗っているときの方がより喜びを感じていることがわかります。

〈注〉※押していくよう||押してくれよ。

※われは||君は。おまえは。

※町||長さの単位。一町は約一〇九メートル。

(1) 1・2 にあてはまる言葉を、本文中よりそれぞれ二字で抜き出さない。

レベル7

1 押す

2 乗る

(2) ——線部「おもしろい気持ちにはなれなかった。」とありますが、その理由の説明と

して最も適切なものを次の1〜4の中から一つ選びなさい。

レベル8

- 1 雑木の枝の下を走ったため、さつきより眺めがよくなかったから。
- 2 トロッコを独り占めしたいのに、二人の土工がなかなか帰らないから。
- 3 余りに遠くへ来すぎてしまい、帰りのことが心配になってきたから。
- 4 遠くまで重いトロッコを押し続け、さすがに疲れが出てきたから。

「余り遠く来過ぎた」や、直後の「もう帰ってくれば好い」などから、最初はトロッコを押したり、乗ったりすることに夢中になっていたが、かなり遠くまで来てしまったことに気づき、いつ帰ることができるのか、と心配になっている心情が読み取れます。

3

埼玉県学力・学習状況調査（中学校）

# 復習シート 第一学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

【「言葉」を問う問題】

1 次の文の（ ）に当てはまる語を、あとの□の中から一つ選びなさい。

レベル5

雲が出て、空が（ ）してきた。遠くの方で、雷が鳴っているのが聞こえる。

- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 1 ゆつたり | 2 すつきり | 3 からりと |
| 4 じんわり | 5 どんより | 6 がっかり |

2 次の——線部の敬語の使い方として、誤っているものを、1～4の中から一つ選びなさい。 **レベル6**

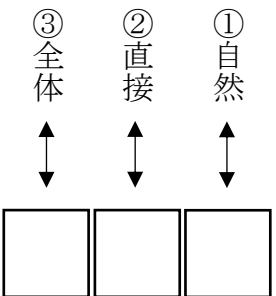
- 1 先生が、私の家にかがう。
- 2 社長に意見を申し上げます。
- 3 会長は「犬より猫が好きだ。」とおっしゃる。
- 4 お隣さんから、お土産のクッキーをいただく。

3 次の①～③と同じ構成になっているものを、下の（ ）から一つ選びなさい。

レベル8

- |       |                              |                      |
|-------|------------------------------|----------------------|
| ①運動場  | （ 1 衣食住 ・ 2 美術館 ・ 3 小休止 ）    | <input type="text"/> |
| ②高性能  | （ 1 新記録 ・ 2 発表会 ・ 3 画一的 ）    | <input type="text"/> |
| ③海水浴客 | （ 1 宇宙旅行 ・ 2 紙飛行機 ・ 3 立候補者 ） | <input type="text"/> |

4 次の①～③の言葉の対義語を、下の1～12の中からそれぞれ一つ選びなさい。 **レベル7**



- |      |       |       |       |
|------|-------|-------|-------|
| 1 消費 | 2 現実  | 3 人工  | 4 部分  |
| 5 義務 | 6 自己  | 7 正常  | 8 必然  |
| 9 肉体 | 10 間接 | 11 苦手 | 12 団体 |

埼玉県学力・学習状況調査（中学校）

# 復習シート 第一学年 国語



組	番号	名前	模範解答
---	----	----	------

【「言葉」を問う問題】

1 次の文の（ ）に当てはまる語を、あとの□の中から一つ選びなさい。

レベル5

雲が出て、空が（ ）してきた。遠くの方で、雷が鳴っているのが聞こえる。

- |        |        |        |   |
|--------|--------|--------|---|
| 1 ゆつたり | 2 すつきり | 3 からりと | 4 |
| 4 じんわり | 5 どんより | 6 がっかり | 5 |

音や物音を表す「擬音語」と、物の状態や様子を表す「擬態語」などを、オノマトペと呼ぶこともあります。

2 次の——線部の敬語の使い方として、□の中から一つ選びなさい。

レベル6

- 1 先生が、私の家にかがう。
- 2 社長に意見を申し上げます。
- 3 会長は「犬より猫が好きだ。」
- 4 お隣さんから、お土産のクッキー

敬語の問題は、その動作の「主語は誰か」を確認しましょう。  
①は主語が「先生」ですので、尊敬語の「いらっしゃる」が正しい敬語になります。

1

3 次の①～③と同じ構えなさい。

レベル8

- ① 運動場 ( )
- ② 高性能 ( )
- ③ 海水浴客 ( )

漢字三字の熟語の構成には、  
・①の「運動場」のように、二字の語の後ろに一字を加えたもの。  
・②の「高性能」のように、二字の語の頭に一字を加えたもの。  
・「衣食住」「松竹梅」のように、一字の語の集まりからできているもの。  
の三種類があります。

漢字四字以上の熟語の構成には、  
・③の「海水浴客」のように、三字と一字の組み合わせなど、いくつかの語の集まりからできているもの。  
・「春夏秋冬」のように一字の語の集まりからできているもの。  
の二種類があります。

3 1 2

から一つ選び

4 次の①～③の言葉の対義語を、下の1～12の中からそれぞれ一つ選びなさい。

レベル7

- ① 自然
- ② 直接
- ③ 全体

4 10 3

他の熟語の対義語

消費—生産 現実—理想  
義務—権利 自己—他者  
正常—異常 必然—偶然  
肉体—精神 苦手—得意  
団体—個人

12 8 4  
団体 必然 部分